

【JCCA 中国支部】懇談会の記事が掲載されました

# 技術発展に理解求める

建設コンサルタンツ協会中国支部と中国地方整備局との懇談会が14日、広島市中区の八丁堀シャンテで開かれた。

冒頭、あいさつした福成孝三支部長は「われわれの土木技術は、これまでのデータや経験にもとづいて構築してきた技術であり、これからのニーズに応え、さらに発展させなければいけ

## 建コン協、中国整備局と懇談会

ない技術だ。昨今の公共事業削減という名の下に、培ってきた技術が途切れ、将来の発展に影響していくことは由々しき問題だと考えている」と理解を求めた。

これを受けて尾藤勇中国地方整備局企画部長が7月の中国・九州北部豪雨災害について、災害協定にもとづく出動要請に迅速な対応を得たことへの感謝を表す



福成支部長（左）と尾藤企画部長

とともに、事業仕分けについて触れ「去年までは公共事業と福祉に焦点が当たっ

てきたが、教育や科学技術など全体に広がっていると。思う。いろんな分野の中で社会資本整備の分野が他の分野に引けを取らないよう必要な予算を確保できるように努力していく」との方針を示した。

懇談会では、技術比率の高い総合評価方式の導入などの入札方式や低入札対策、発注者支援型CM方式の検討状況など発注者支援業務に関して意見交換した。